

Windows ハードディスクのデータ復旧

総合技術センター

計測・制御技術分野 飯田 仁 (Hitoshi Iida)

1. はじめに

12月下旬、研究室の修士課程2年生の学生が「外付けハードディスクドライブ(HDD)が認識しません。何とかありませんか？」と不具合のあるHDDを持って訪ねて来た。この時期に修士課程2年と言えば修士論文の作成時期であり表情に悲壮感が漂っていた。

そのHDDのデータ復旧が成功したので方法などについて、紹介を兼ねまとめておく。

2. 不具合HDDの状況

認識しないHDDは、Windows PCに接続すると「巡回冗長検査エラー」というエラーが表示され「フォーマットして下さい」となる状態だった。念のため別のWindows PCに接続するとHDDの認識はするが、エラー表示ではなくいきなり「フォーマットされていません。フォーマットして下さい」となった。

3. 対処方法

過去に3回ほど自宅PCのHDDで同様のトラブルに合い対処をしていたので、今回もその時と同じソフトウェア(EaseUS Disk Copy)を利用した復旧方法を学生に紹介したが、「パソコンに詳しくないので・・・」と言われたため、代わりに実施することにした。実施すると言ってもCDドライブからブート(起動)可能なPCを用意し、不具合HDDと正常なHDD(今回は新品)を接続して、このソフトウェアをCDから起動させるだけでよい。起動後は画面の指示に従い、始めにコピー元(不具合)HDDを指定し、次にコピー先(正常)HDDを指定し、コピー実行をクリックする。注意点としては、

1. コピー元とコピー先のHDDを間違わない
2. コピーに時間がかかる
3. コピーできないデータがあった場合、「無視する」などの質問が画面に表示され、回答するまでコピー動作が中断する

である。今回はノートPCを利用し、外付けHDDを2台(不具合品と新品)接続した。2TBのHDDのコピーに30時間を要した。

4. 復旧結果

コピー後のHDDをWindows PCに接続すると問題無く認識し、数個のファイルを確認することができたので「内容を確認して欲しい」と学生にコピー後のHDDを引き渡した。

その後学生が「必要なファイルが全部確認できました。ありがとうございました。」と報告に来た。当初の表情とは打って変わって喜びに満ちていたことは言うまでもない。

5. コンプライアンス

今回利用したソフトウェアは以前フリーソフトとして紹介^[1]されていたが、改めて同社ホームページを確認すると、EaseUS Disk Copy Homeと改名されており、トップページ^[2]に「個人ユーザー向けの無料製品です」と表示されている。従って商用利用には使用できないことになる。今回は学生のHDDのコピー(復旧)であり、個人利用の範囲内であると考えられることもできそうだが、個人利用の範囲を拡大解釈すると大変なことになる。この機会に商用利用も可能なEaseUS Disk Copy Technicianを総合技術センターとして購入した。もちろん教員などから金品を受け取るためでなく「個人ユーザー向け製品の業務利用」を明確にすることが目的である。また、購入すると組織内で無制限に利用できる^[2]。

6. その他の利用方法

今回のソフトは、起動用HDDにも対応しているため、更新の際も利用可能である。

参考文献

[1] http://d.hatena.ne.jp/matu_tak/20111116/1321636275

[2] <http://jp.easeus.com/disk-copy/home-edition/>